

読者の声 読者の疑問に答えます

読者の声 読者の疑問に答えます

読者の声 読者の疑問に答えます

### 週刊朝日

住む予定もない。これから  
 地方で増えていきそうなケ  
 ースだ。

「かつては、最終手段とし  
 て土地を売れば相続税を払  
 えました。しかし最近、  
 売却のために土地を整備し  
 ようとすると、整備費用の  
 ほうが売却価格より高くな  
 る場合が増えてきています。  
 土地神話は崩壊し、今後は、  
 『土地は財産』とばかりは  
 言えないですね」(倉橋さ  
 ん)

**Q14**  
 誰も住まない田舎の  
 家を相続したくない

田舎にある実家で一人暮  
 らしをしていた母が亡くな  
 り、実家の土地・建物とわ  
 ずかの預貯金が残された。  
 実家にはとても買手がつ  
 きそうにないし、子どもが

39 2013.1.25

**Q20**  
 家業を継がない兄が  
 土地の相続を要求し  
 てきたら

長男や長女に家業を継い  
 てもらい、自宅兼店舗を譲  
 りたい。そう考える親は多  
 いだろう。だが、法律上は  
 そうなっていない。

「親の事業を長男や長女が  
 継いでいても、自宅兼店舗  
 が父の名義なら、遺言書が  
 ない限り、その相続権はす  
 べての子に平等にあります。  
 だから、妹や弟が『自宅兼  
 店舗部分を相続するなら、  
 何らかの形で法定相続分を  
 寄せ』と言ったら、長男  
 は借金などをしてその分を  
 用意する必要があります」  
 (倉橋さん)

都内の一等地に飲食店を  
 出していた人が、相続のた  
 めにそこを売り払って出て  
 いくハメになった例もある  
 という。倉橋さんが語る。  
 「そうした事態を避けるに  
 は、遺言書に『自宅兼店舗  
 は長男に相続させる』と記  
 しておくことが不可欠です。  
 さらに遺留分を主張される  
 ことも考えて、現金も準備  
 しておきましょう」

「家業を継ぐから店舗の土  
 地も継げる」とはならない  
 ことを、肝に銘じておこう。